

# ゲノム創薬学分野

## 論文

### A 欧文

A-a

1. Keiro Shirotani, Daisuke Hatta, Naoki Wakita, Kaori Watanabe, Nobuhisa Iwata: The role of TREM2 N-glycans in trafficking to the cell surface and signal transduction of TREM2. *Journal of biochemistry* 172(6): 347-353, 2022. doi: 10.1093/jb/mvac073.

A-b

1. Hiroki Sasaguri, Shoko Hashimoto, Naoto Watamura, Kaori Sato, Risa Takamura, Kenichi Nagata, Satoshi Tsubuki, Toshio Ohshima, Atsushi Yoshiki, Kenya Sato, Wakako Kumita, Erika Sasaki, Shinobu Kitazume, Per Nilsson, Bengt Winblad, Takashi Saito, Nobuhisa Iwata, Takaomi C. Saido: Recent Advances in the Modeling of Alzheimer's Disease. *Frontiers in Neuroscience* 16: 2022. doi: 10.3389/fnins.2022.807473.

### B 邦文

B-e-1

1. 八田 大典, 光成 晃輝, 永田 健太郎, 金本 海斗, 濱田 麻希, 西村 聖未, 瀨上 由貴, 川上 茂, 木下 晃, 吉浦 孝一郎, 黒滝 直弘, 城谷 圭朗, 岩田 修永: マウス線条体におけるジスキネジア関連分子PRRT2のドーパミン神経伝達における役割. *日本薬学会年会要旨集 142年会: 28N-am09*, 2022.
2. 城谷 圭朗, 渡辺 かおり, 脇田 直樹, 岩田 修永: TREM2のN結合型糖鎖は細胞膜移行とシグナル伝達能を正に制御する. *Dementia Japan* 36(4): 755, 2022.
3. 池水 文香, 渡辺 かおり, 堀 祐真, 宮内 完季, 増田 豪, 大槻 純男, 八田 大典, 城谷 圭朗, 田中 隆, 岩田 修永: カテキン誘導体との相互作用によるTMEM106Bのネプリライシン発現調節機構の解析. *Dementia Japan* 36(4): 744, 2022.
4. 城谷 圭朗, 渡辺 かおり, 脇田 直樹, 岩田 修永: TREM2のN結合型糖鎖は細胞膜移行とシグナル伝達能を正に制御する. *老年精神医学雑誌 33(増刊II): 250*, 2022.
5. 池水 文香, 渡辺 かおり, 堀 祐真, 宮内 完季, 増田 豪, 大槻 純男, 八田 大典, 城谷 圭朗, 田中 隆, 岩田 修永: カテキン誘導体との相互作用によるTMEM106Bのネプリライシン発現調節機構の解析. *老年精神医学雑誌 33(増刊II): 228*, 2022.
6. 城谷 圭朗, 岩田 修永: 【神経炎症を見る、制御するグリアテクノロジー】アミロイド病理における神経炎症とミクログリア、Trem2の役割. *Dementia Japan* 36(2): 232-243, 2022.

## 学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	1	0	0	5

## 社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
城谷圭朗・准教授	代議員	日本認知症学会
城谷圭朗・准教授	倫理委員会	日本認知症学会
岩田修永・教授	学術評議員	日本薬理学会
岩田修永・教授	Regional Editor	Current Neuropharmacology
岩田修永・教授	Editorial Board	International Journal of Clinical and Experimental Pathology
岩田修永・教授	Editorial Board	Open Pharmacology Journal
岩田修永・教授	評議員、財務委員	日本認知症学会

岩田修永・教授	評議員、薬事委員	日本神経精神薬理学会
岩田修永・教授	評議員	日本生化学会
岩田修永・教授	評議員	日本病態プロテアーゼ学会
岩田修永・教授	第6回せりか基金賞選考委員	一般社団法人せりか基金
岩田修永・教授	特別研究員等審査委員会専門委員	独立行政法人日本学術振興会
岩田修永・教授	研究支援事業 事前評価 外部専門家	国立研究開発法人科学技術振興機構
岩田修永・教授	科学技術の状況に係る総合的意識調査 科学技術の状況に係る総合的意識調査 (NISTEP 定点調査 2022021) 調査委員	文部科学省科学技術・学術政策研究所

### 競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
城谷圭朗・准教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「アルツハイマー病危険因子が発症頻度を増加させるメカニズムの解明」
城谷圭朗・准教授	公益財団法人ノバルティス科学振興財団	代表	ノバルティス研究奨励金「ミクログリアの機能障害と神経変性疾患の発症機序の研究」
岩田修永・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「痙攣性神経疾患関連遺伝子PRRT2のシナプス間隙神経伝達物質濃度調節機構の解明」

### 特許

氏名・職	特許権名称	出願年月日	取得年月日	番号
城谷圭朗・准教授	新規アルツハイマー病治療薬	2015年11月6日	2020年11月20日	第6797408号
城谷圭朗・准教授	髄液型糖タンパク質の富化及び分離方法、並びにその方法を用いた中枢神経系疾患用マーカーの探索方法及び中枢神経系疾患用マーカー	2011年12月16日	2017年1月20日	第6074846号
城谷圭朗・准教授	糖鎖アイソフォーム検出方法及び糖鎖アイソフォーム検出装置	2013年8月9日	2016年8月5日	第5979683号
岩田修永・教授	アミロイド親和性化合物	2004年10月29日	2006年11月10日	第3877754号
岩田修永・教授	アルツハイマー病モデル動物およびその用途	2006年6月20日	2012年5月30日	第4942081号
岩田修永・教授	Model mouse od Alzheimer's disease expressing FAD APP716 and use	2007年6月20日	2010年6月29日	US 7745688
岩田修永・教授	Model mouse od Alzheimer's disease expressing FAD APP716 and use	2007年6月20日	2011年11月23日	FR 1870472
岩田修永・教授	Model mouse od Alzheimer's disease expressing FAD APP716 and use	2007年6月20日	2012年5月30日	GB 1870472
岩田修永・教授	Method for diagnosing a protein misfolding disease using nerve cells derived from iPS cells	2010年3月3日	2015年8月4日	US 9097727

岩田修永・教授	アルツハイマー病の治療薬および／または予防薬のスクリーニング方法	2012年3月21日	2018年5月11日	第6335117号
岩田修永・教授	アルツハイマー病治療薬	2015年10月1日	2020年11月20日	第6797408号
岩田修永・教授	Therapeutic Agent for Alzheimer' s Disease	2015年11月6日	2018年5月29日	US 9980937

## その他

### 非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
岩田修永・教授	非常勤研究員	国立研究開発法人理化学研究所